

●▲みねのぶ



第66回通常総会 (JA三階大会議室 3月22日)

■発行日/平成26年4月1日/No.1344号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美咲市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務部 ■印刷/空知印刷株式会社

**J A 第66回通常総会終了
決算・剰余金処分案、新年度事業計画案等を原案通り可決**

当J Aの第66回通常総会は、3月22日午後1時30分からJ A三階大会議室で正組合員461人のうち、本人出席に代理出席と書面議決書提出を合わせ327人が出席して開催されました。

総会は伊藤専務の開会宣言で始まり、J A綱領を全員で朗唱した後、J A事業の推進に貢献のあった前青年部長の田中良典さんに対して森川組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。森川組合長の挨拶に続き、来賓として出席した柿木道議会議員、関係行政を代表して美唄市の高橋市長、系統連合会を代表してJ A北海道中央会

岩見沢支所の石田支所長から祝辞をいただきました。祝電披露に続き、峰樺の佐々木勝博氏を議長に選出し議事に入りました。

審議は、定款の一部変更、監事監査規程の一部変更、第66事業年度（平成25年度）事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認、第67事業年度（平成26年度）事業計画の設定、百周年記念事業積立金の設定、役員候補欠選任等合計13議案について審議され、全議案が原案通り承認決定されました。また、T P P等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議を特別議決しました。



祝辞を述べる柿木道議会議員



質問をする吉村俊子さん

農協地区別懇談会終了

J Aの地区別懇談会は、3月9日から12日の4日間、午前と午後に分けて7会場で開催を終えました。この懇談会では、通常総会の開催に先立って例年開催しているもので、J Aの平成25年度事業の決算結果と剰余金処分案、平成26年の営農部関係の取組み内容等が説明されました。

融雪作業等で忙しい中を多くの組合員の皆さまが出席し日頃から抱えているJ A事業運営上の疑問や要望等多く出され盛会裡に終わりました。懇談会で出された意見、要望等は後日整理しQ & A形式にして皆さまにお届けします。

3月臨時理事会開催

3月8日開催の臨時理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 使用人兼務理事の承認について

3月22日開催の臨時理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 参事の解任について

第2回(3月定例)理事会開催

3月27日開催の第2回(3月定例)理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 平成26年度の理事報酬について

2. 平成26年度農家経済再建特別対策対象組合員及び債権管理組合員の選定について

3. 理事に対する資金の貸付について

4. 持分の譲渡について

5. 非常勤理事の使用人兼務及び信用担当の決定について

6. 平成26年度の余裕金運用方針について

おくやみ申し上げます

加藤 ちやさん (94歳) 2月26日

白石 一夫さん (77歳) 3月1日

魚津 ノブさん (88歳) 3月3日

北川 兼雄さん (80歳) 3月9日

傳法 ミヨさん (86歳) 3月12日

岩見沢市北村中小屋3493-1

美唄市峰延町峰樺三区

J A み ね の ぶ 青 年 部
ス ノ ー メ ッ セ ー ジ を 制 作

3月9日、JAみねのぶ青年部が美唄市光珠内の国道12号沿いにスノーメッセージを制作しました。

青年部員29名が午前9時に集合し国道除雪の雪山を利用してスノップなどで形を整え、カラーズプレー等で「ハーブ米をたべて下さい」と描き、当JAの「香りの畦みちハーブ米」の消費を往來の人々に呼びかけるメッセージを描き完成させました。沼田青年部長は、「全国的に米の消費量が落ち込むなか、当JA産米の消費拡大に向けたPRになるように多くの人の目に留まってもらいたい。」と期待を述べていました。



完成したスノーメッセージ

- 報 徳 -

人道の根本は譲道

翁のことばに、万国どこでも、開びやくのはじめから人類があつたのではない。幾千年ののち、初めて人類が生じ、

そのうち、初めて人類が生じ、そして人道が立ったのだ。鳥獣は、ほしいものを見ればすぐさま取って食うし、取れるだけのものをばかり無く取って、譲るといふことを知らない。草木もそのとおりで、根の張れるだけの土地はどこまでも根を張って、遠慮会釈もない。これが、彼らの道とするところなのだ。人がこんな事をすれば盗賊になってしまう。人間はそうはしないで、米がほしければ田を作って取り、豆腐がほしければ銭をやって取る。鳥獣がすぐさま取るのとは訳が違う。人道というのは天道とは違って、譲道によつて立つものだ。譲道は、今年のもを来年に譲り、親が子のために譲ることから出来た道だ。天道には譲道はない。人道は人の便宜を図つて立てたものだから、ややもすれば奪の心を生ずる。鳥獣には間違つても譲の心が生ずることはない。これが人類と畜類の区別なのだ。田畑は一年耕さなければ荒地

となるが、荒地は百年たつても自然と田畑になることはない。それと同じ事だ。

人道は自然ではなく、作為のものだからして、人間社会で用を弁ずる品物は、作ったものではない。だから人道は、作ることに勤めるのを善とし、作ったものを破るのを悪とするのだ。何事でも、自然に任せれば、みんなすたれる。これをすたれぬように勤めるのが人道だ。人の用いる衣類の類から、四角な柱、薄い板の類、その他白米や精麦やみそ・しょうゆの類が、田畑山林に自然に生育するわけがない。だから人道は勤めて作るのを尊び、自然に任せてすたれるのを憎むのだ。

とらやひょうなどは無論のこと、くまやいのししなどを見るがよい。木を倒したり、根を掘ったり、その強いこと例えようもないが、またその努力も例えようがない。しかも終身努力して安堵の地を得られないのは譲ることを知らず、生涯己のためばかりしているから、労して功がないのだ。たとい人と生まれても、譲りの道を知らなかったり、知つても勤めなかつたりでは、安堵の地を得られないのは鳥獣と同じ事だ。だから、人たるものは、知恵はなく

とも、力は弱くとも、今年のもを来年に譲り、子孫に譲り、他人に譲るといふ道をよく心得て、よく実行しさえすれば、必ず成功すること疑いない。その上にまた、恩に報いるという心掛けがある。これも心得ねばならず、どうしても勤めねばならぬ道なのだ。(夜一七七)

J A み ね の ぶ 夏 季 営 業 時 間

営業時間が次の夏季営業時間(平成26年4月1日~平成26年10月31日)に変わります。これまで以上のご利用をお待ち申し上げます

	平日(月曜~金曜)	土 曜	日 曜	祝 日
本部事務所(ビル2階)				
営 農 事 務 所	午前8時30分~午後5時	午前8時30分~午後0時	休 み	
営 農 資 材 店 舗				
精 米 所	*精米所は毎週木曜日休み	休 み		
ATM(現金自動預払機)	午前8時30分~午後6時	午前9時~午後5時		休 み
生 活 店 舗	午前9時30分~午後6時30分			
峰 延 給 油 所	午前7時30分~午後7時30分		午前7時30分~午後7時	

【留意】
*金融窓口業務(貯金・共済・融資・出納)のうち貯金の預け入れと払戻し、共済掛金の払込、貸出金の償還等の現金を伴う業務は、平日(月曜~金曜)の午前8時30分から午後4時までです。
*為替振込の取扱いは、平日(月曜~金曜)の午前8時30分から午後3時までです。
*農繁期に合わせて、生活店舗及び営農資材課が営業日・営業時間を拡大するときは事前にFax及び店内掲示等でお知らせいたします。

香りの畦みちハーブ米 生産部会総会開催

3月14日、J A 三階会議室で「香りの畦みちハーブ米生産部会」（荒井順一（部長））の総会が開催されました。

議長に沼田昌樹さん（拓北）が選出され、平成25年度事業報告、平成26年度事業計画案が審議され原案どおり承認されました。

引き続き講習会が開催され、空知農業改良普及センターの武田調査員を講師に招き成苗ポットにおける育苗の新基準について、シラタ・紋枯病の発生について、空育180号について等が説明されました。

J A 女性部 営農講習会開催

3月14日、J A 三階会議室において、J A 女性部が恒例の営農講習会を開催しました。

講習会には女性部員10名が参加し、空知農業改良普及センターの志和主査を講師に招き園芸作物について講習会が行われました。

地域にあった野菜作り、長く収穫する方法等を詳しく説明され、質疑応答では、土壌消毒、有機物

の使い分けについて等の質問が積極的に出され、野菜作りに対する意欲が表れていました。



講師も受けている部員も熱心です

峰延農協協栄会総会開催

当J A の役員O B で構成する協栄会の総会が3月18日、北村温泉ホテルで開催されました。

宮越会長以下13人の会員が出席し平成25年度の事業結果・収支決算、平成26年度事業計画案・収支予算案が原案通り決定されました。

来賓に森川組合長、伊藤専務が招かれJ A の決算内容や最近の農業や農協を取り巻く情勢等が伝えられました。総会終了後の懇親会では久しぶりに会う方が多く懐か

しい話に盛り上がっていました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ次の方が選任されました。

- ・ 会長 岩間啓一（峰 樺）新
- ・ 副会長 井沢弘明（上美唄）新
- ・ 三枝法廣（岩 峰）新
- ・ 監事 松田博雄（上美唄）再
- 北野 守（大 願）新



出席者全員

「食育教育」補助教材贈呈

J A バンク食農教育応援事業で小学生向けに作成した食農教育の補助教材を、当J A から美唄市教育委員会を通じて峰延小学校に贈呈しました。

3月24日、当J A の森川組合長とJ A びばい海老田組合長が揃つ

て美唄市教育委員会を訪ね早瀬公平教育長に各J A 管内にある小学校の生徒数分の教材を手渡ししました。森川組合長からは、峰延小学校の児童分20冊を贈呈しました。

平成20年度から始めた「J A バンク食農教育応援事業」は、J A バンク（J A ・信連・農林中金）が全国の子供たちに向けて食・環境と農業への理解を深めてもらうと食農教育の補助教材の贈呈を継続して実施しています。

贈呈した補助教材は、教材名が「農業とわたしたちのくらし」で、私たちの生活に欠かせない食と農業、環境と農業の密接なかわり



食農教育補助教材を美唄市早瀬教育長に贈呈

の他、安定した食が各家庭に届くまでの流通や農畜産物の全国の産地等をイラスト・写真・グラフをふんだんに使い総合的に学習することが出来る内容となっております。贈呈を受けて早瀬教育長は、この教材を使って美唄の基幹産業である農業、地域の事を学び、故郷に対する愛着や誇りを身に付けてもらいたいと話していました。

本誌は今月から大きくなります

誌面が従来より約15%大きいA4判になり、文字も一回り大きくなり読みやすくなります。

退職にあたって

經濟部販売企画課 山崎 博

峰延農協には縁あつて平成16年4月から10年間お世話になりましたが、76歳となり契約更改に合わせて3月末で退職することとしました。前半の5年間は営農推進課に所属し米及び転作物を担当、後半の5年間は販売企画課に所属し青果物（近所野菜・各部会）を担当し、色々お世話になりました。振り返ると組合員や職員の皆さまに親しく接していただき思い出の多い職場で感謝しています。

組合員の皆さま、職員の皆さまの更なる発展を願いつつ退職のご挨拶といたします。

営農技術情報

水稲

1 苗床の準備

健苗育成のためには、地温を高める対策が重要です。融雪を積極的に進め、早期にハウスを設置しましょう。排水溝の設置などで、圃場の乾燥を図り、置き床の環境（床の砕土ムラ、均平ムラは、イネの生育ムラの要因の一つです）を整えましょう。

2 種子の準備

○種子消毒

浸漬消毒を行う場合は、薬液と籾の容量比を1対1とし、消毒液温は10℃～12℃で行います。また、消毒液の廃液は適正な処理を行って下さい。

○バカ苗病

近年、バカ苗病が各地区で多発しております。バカ苗病は胞子の飛散範囲が広く、発生後は抜き取り以外に防除方法がありませんので、種子消毒での防除が必要になります。薬剤処理、温湯消毒とも適正量と処理時間を守り、未然に

発生を防ぎましょう。特に自家採取した種子については、感染している可能性が非常に高いので、毎年ホクレンの採取圃産種子へ必ず更新しましょう。

○浸種

平均水温11℃～12℃とし、浸漬日数は7～9日が適しています。種子消毒も含め、容器内の温度差がないように注意します。特に浸種開始から24時間の水温が10℃を下回ると発芽率が著しく低下しますので水温には充分注意して下さい。また、浸種3日後から2～3日ごとに静かに水の交換を行い、酸素を供給します。

○食酢処理

循環式催芽器で催芽時に50倍の食酢を使用することで、褐条病に対して高い防除効果が期待できます。しかし、使用方法を誤ると催芽の遅れなどの障害を招くため次の点に注意して下さい。

- ・循環式催芽器のみ適用
- ・使用する食酢は酸度4.2%の穀物酢を必ず使用（酸度が2倍の特濃酢もあるので注意する）
- ・業務用の食酢は食塩が含まれているので使用しない
- ・50倍より高濃度の食酢では発芽

率が低下する（33倍液では、催芽時間が極端に延びる）

- ・褐条病以外の病害に対する防除効果は期待できない為、種子消毒は従来通り行う
- ・食酢は1度使用したら廃棄する
- ・使用後の催芽器は必ず洗浄する
- ・エコホープDJは重曹を含むので浸種前（24時間前）に処理する

※食酢を使用することにより通常より催芽に時間がかかることがあります。

○催芽

催芽最適温度は30℃～32℃で、時間は20時間前後が目安です。終了数時間前から一時間おきに芽の伸び具合をチェックしましょう。催芽の程度は鳩胸～2mm程度とします。

3 播種

育苗様式に合った適正な播種量を守ります。特に成苗ポット育苗では2粒以下にならないよう穴毎に確認し調整します。また、種籾の落下量は籾のぬれ具合や品種によつて変化するので、作業中も時々播種粒数を確認しましょう。

4 初期の育苗管理

出芽を揃えるためには、土壌水分を保ち、播種後からの温度を籾付近で30℃～32℃に保つのがポイント

トです。種初めの7割程度が出芽したら、被覆資材は除去します。

出芽揃い後は、根の発育促進のため灌水は控えめにを行い、温度は20〜25℃を目途に管理します。灌水をする場合は晴天時の早朝に一度に十分灌水し、地温の低下を防ぎます。また、1.5葉期までは夜間被覆を行い、10℃以下にならないよう保温に努めます。

5 箱施用・灌注処理防除

近年、イネドロオイムシの抵抗性個体群の発生ともち病のMB I-D剤の耐性菌が確認されています。抵抗性が確認されている薬剤については別表を参照して下さい。(表1) また、箱施用・灌注処理どちらも薬剤投下量は必ず遵守して下さい。

6 本田整備

本年は融雪の遅れが予想されますが、少しでも早い融雪に努め、圃場の乾田化を図りましょう。溝切りを行い、停滞水を速やかに排出して圃場の早期乾燥に努めて下さい。

7 早期異常出穂抑制対策

昨年、農業試験場より早期異常出穂のリスクを抑制する為の成苗ポットにおける苗移植時の形質と管理の留意点が発表されました。

(表2)

近年、

当管内においても育苗期後半の高温が原因と思われる早期異常出穂の発生が散見されておりますので、各品種の目標葉数で移植できるような逆算して播種作業を開始しましょう。

秋小麦

1 起生期の追肥

本年も積雪量が多い状況となっております。融雪促進と停滞水の排除に努め、少しでも早く追肥を行いましょう。また、茎数が施肥量を定める目安となりますので、起生期に必ず茎数を確認し、適正な追肥を行って下さい。(表3)

尚、昨年より販売されておりますBB082CRを基肥に使用し

表1 抵抗性・耐性の発生が確認された薬剤

対象病害虫	成分名 (商品名)	備考
いもち病	ジクロシメット (デラウス)	やむなく使用する際は年1回までの使用
イネドロオイムシ	イミダクロプリド (アドマイヤー) クロチアニジン (ダントツ) ※フィプロニル (プリンス)	プリンスについては当管内での抵抗性個体の発生は未確認

表2 早期異常出穂のリスクを抑制するための成苗ポット苗移植時苗形質と育苗管理の留意点

移植時苗形質	草丈	10~13 cm
	乾物重	3.0~4.5 g/100本
	目標葉数	きらら397 異常出穂リスク:低 3.6~4.4葉以内 ゆめぴりか 異常出穂リスク:中 3.6~4.3葉以内 ななつぼし 異常出穂リスク:高 3.6~4.0葉以内
育苗管理の留意点	育苗温度管理	簡易有効積算温度は400℃以内 2.5葉以降は25℃以上としない
	育苗日数	中生品種は30~35日

2 眼紋病の防除

連作圃場は、発生が懸念されますので、防除を実施します。防除適期は、4月下旬〜5月上旬の幼穂形成期から節間伸長前期です。

春小麦

本年も積雪量が多く、播種の遅れが予想されます。融雪促進と停

滞水をできるだけ早く処理し、生育期間の確保に努めます。

1 春播き栽培

4月中旬頃までに播種を実施しましょう。

4月中旬に播種ができない場合は大豆等、他の作物への変更を検討して下さい。

表3 「きたほなみ」窒素分追肥の目安

時期	項目	目安			備考
起生期	m茎数	800本以下	800~1,300本	1,300本以上	BB082CRを元肥に使用している場合は不要
	窒素施肥量	8 kg/10a	8 kg/10a	4 kg/10a	
幼穂形成期 10~14日	m茎数	1,500本 (標準茎数)			土質・生育によって異なる
	窒素施肥量	2~4 kg/10a	0~4 kg/10a		

起生期…平年 4月9日 幼穂形成期…平年 5月4日

「はるきり」の播種量の目安は、12〜13 kg/10 aで、施肥量は12 kg N/10 aを上限に「春よ恋」に比べ3 kg N/10 a程度増肥します。

2 初冬播き栽培

融雪後、直ちに施肥作業を行います。窒素施肥量の目安は8 kg/10 a程度です。